

WHO健康都市推進事業

[2]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0101	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	企画部 健康都市推進室		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	すべての市民	人とまちの健康をまちづくりの中心に据え、従来の保健・医療分野に限らず、環境、教育、基盤整備などの行政における各分野が連携して、市民と協働で健康都市を築いていく。 「健康都市 尾張旭」の実現に向け、尾張旭市健康都市プログラム(平成26年3月改訂)に基づき、関連事業を連携して一体的な推進を継続する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	健康都市プログラムの推進のため、下記事項を実施する。 「リーディングプラン」に沿った事業の展開 健康都市の取組の積極的なPR 「健康都市連合」に係る事業の実施 「健康都市連合日本支部」に係る事業の実施 事業者、市民活動団体、学校等対象の健康都市づくり事業の実施 健康都市連合日本支部大会への参加 健康都市連合国際大会への参加(隔年実施) 健康都市連合理事会への参加
	市民の健康をまち全体で支えていく取り組み(健康都市プログラム)が実践されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	健康マスターの対象事業数	事業	127	21	100	119	
	健康都市連合に関するイベント・打合せの参加日数	回	271	12	10	10	
成果指標	本市が「健康都市」を目指していることを知っている市民割合	%	74.7	74.7	65	75.3	
	自ら健康づくりに取り組んでいる市民割合	%	59.2	59.2	65	57.8	
事業費 計			3,627	6,116	4,263	3,559	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		166	183	240	168
		オ 一般		3,461	5,933	4,023	3,391

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)本市が「健康都市」を目指していることを知っている市民割合は、昨年度と比較し0.6ポイント上昇しています。一方、自ら健康づくりに取り組んでいる市民割合は、1.4ポイント減少しています。 (原因)前者は、長年にわたり「健康都市」を掲げていた成果が少しずつ浸透していった結果であると考えます。今後も、積極的に「健康都市」をPRするとともに、健康づくりに取り組む市民を増やすため、各種の事業を効果的に実施する必要があります。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	「健康都市」が本市のブランドとなり、市民が誇りに思うように、改めて、健康都市の理念を積極的に周知します。 WHO西太平洋地域健康都市連合の設立メンバーとして、引き続き、本市の健康都市づくりを国内だけでなく、国際貢献に寄与するため国外にも発信します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	H28.10月 理事に就任 H29.8月 理事会・国際フォーラム(カンボジア・プノンペン開催)にて、日本を代表として本市の取組(生活習慣病の予防)を発表した。		

健康の日事業

[6]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0102	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	企画部 健康都市推進室		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>すべての市民</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>市民一人ひとりが自身の健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりに取り組んでいる。</p>	<p>4月29日「尾張旭市 健康の日」に「あさひ健康フェスタ」を開催し、健康都市づくり一人の健康、まちの健康一の各種事業を通して、市民の健康意識をさらに高め、市民自ら健康づくりに取り組む機会を提供し、市を挙げて「健康都市」を発信する。</p> <p><あさひ健康フェスタ実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康まつり ・あさぴースマイルウォーキング ・健康関連ブース

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	「健康の日」に実施した事業数	件	45	49	38	50
成果指標	「健康の日」に実施した事業への参加者数	人	1,772	2,412	2,300	2,199
事業費 計			2,302	1,853	1,850	1,690
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,302	1,853	1,850

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)「健康の日」に実施した事業への参加者数については、昨年度と比較すると、8.8%の低下となっている。</p> <p>(原因)毎年同じような内容でイベントを開催しており、マンネリ化が原因であると考えられる。このため、GCTV社屋を会場に加える見直しをH30年度に実施しており、H31年度に向けては、更なる参加者向上に向けた見直しを行っていく必要がある。</p>
--------	--	---

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

保健・健康推進事業審議事務

[1]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0103	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	健康推進委員会 意図(対象をどのような状態にしたいのか) 本市が取り組む健康推進事業を実施しようとする際、委員会による審議を得ることと、事業を効果的かつ円滑に進めることができる。	尾張旭市健康推進委員会条例に基づく委員会で、14名の委員をもって構成する。 ・任期：2年、委員構成 14名(学識経験者(4名)：瀬戸保健所、旭労災病院、公立陶生病院、大学、各種団体(8名)：瀬戸旭医師会、尾張旭市歯科医師会、尾張旭市薬剤師会、自治連合協議会、地域婦人団体連絡協議会、体育協会、健康づくり食生活改善協議会、愛知県健康づくりリーダー連絡協議会瀬戸支部、市民公募(2名)) (内容) 本市の健康推進事業の内、特に重要な事業に関し、委員会にて審議を行う。 (過去の主な委員会審議状況) 平成28年度：1回 平成28年度保健事業概要報告等 平成29年度：1回 平成29年度保健事業概要報告等

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	委員会開催数	回	1	1	1	1
	委員会にて審議されたことにより健康推進事業が円滑に実施できた事業数	事業数	1	1	1	1
事業費 計			64	64	77	64
成果指標	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	64	64	77

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	「健康あさひ21計画」の策定(中間見直し)の際には、その審議を行う場として当健康推進委員会を充てることとしている。 中間見直しの審議にあたり、平成31年度には2回、平成32年度には3回の開催を予定している。
--------	---	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

市民総元気まる事業

[3]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0104	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p><元気まる測定> 18歳以上の市民</p> <p><あたまの元気まる> 40歳以上で要介護・要支援認定を受けていない市民</p>	<p>【平成29年度の実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種イベントを通じ、事業の周知啓発を行う。 出張あたまの元気まるを実施し受検者数増加を図る。 元気まる測定の事後教室を開始。(年に1回、6月より6回の教室) <p>【事業内容】</p> <p><元気まる測定> 元気まる測定(保健福祉センター)、出張元気まる測定(出前講座)、問診のみの元気まる測定</p> <p>「～の内容」</p> <p>問診、体力測定(省略有)、健康相談の実施、受検結果に応じ保健指導を実施</p> <p>ネットDE元気まる(インターネット版簡易元気まる測定)</p> <p>体の元気まる、心の健康度チェック「こころの天気予報」</p> <p><あたまの元気まる></p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットを使う軽度認知障がいチェックテストを実施(H25.5.20開始) 軽度認知障がいの段階の認知機能の低下を発見し、保健指導等で正しい生活習慣などから認知症予防実践へ導く。 保健福祉センターにて週2回実施(月、木)その他に健康まつり、市民祭、出前講座でも実施。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	元気まる測定、あたまの元気まる実施回数(出前含む)	回数	161	174	160	199	
	元気まる測定、あたまの元気まるの出前による実施回数	回数	51	69	40	53	
成果指標	元気まる測定、あたまの元気まるの受検人員数	人	1,972	1,836	2,000	1,713	
	元気まる再検者で結果が維持・向上した人員割合	%	76.5	73	75	64.5	
事業費 計			5,219	5,021	5,053	4,773	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他				2,500	2,386
		オ 一般		5,219	5,021	2,553	2,387

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況)受検人員数が年々下がっており、それに伴い「元気まる再検者で結果が維持・向上した人員割合」も低下している。</p> <p>(原因)健康づくり教室の参加者も減少しているため、影響を受けていると思われます。</p>
--------	---	---

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	保健師の意見を踏まえ、元気まる測定の内容見直しについて検討します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
見直しに時間を要するため結論が出なかった。			

健康づくり教室事業

[4]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0105	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	18歳以上の市民	<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉センターで以下の教室を実施、講義や実技を通して健康づくりのポイントを学ぶ。 ・参加者の募集は、ポスター・チラシの掲示、広報尾張あさひ、個別案内を中心に行う。 <メニュー> ちょいやせ道場(旧健診結果正常化教室)：定員20名×12回×2コース 骨コツヘルスアップ教室：定員20名×7回×1コース 知って納得！健康プラス教室：定員20名×6回×1コース ヤングのうちから健康みつめ隊：定員20名×3回×1コース <スタッフ> 保健師、運動指導士、健康づくりリーダー、医師、管理栄養士、歯科衛生士など
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
健康づくり教室を通じて、健康的な生活習慣について正しく理解し実践する市民が増える。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	教室開催回数	回	31	31	40	35
	教室参加人数(述べ人数)	人	435	374	500	384
成果指標	健康的な生活習慣を理解し実践しようと思った参加者割合	%	100	100	100	100
	健康づくり教室が役に立ったと思う参加者の割合	%	100	100	100	100
事業費 計			1,888	2,272	2,168	1,909
財源内訳		ア 国				
		イ 県	493	304	377	368
		ウ 地方債				
		エ その他	31	24	39	22
		オ 一般	1,364	1,944	1,752	1,519

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり 【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が中程度	訪問や電話によって保健指導に繋がれず、教室参加者数は低迷している。
--------	---	-----------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

健康増進普及啓発事業

[5]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0106	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	80歳以上の市民	8020運動 <内容> 80歳になっても自分の歯が20本以上残るよう、日ごろから歯科保健を意識していただき、歯を残すとともに健康に過ごしてもらう事を目的とした国民的運動 <対象者> 80歳以上で自分の歯が20本以上ある者(以前表彰されていないかた)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<参考> ・歯科医療機関より推薦していただき、表彰対象者となる。 ・表彰対象者となったかたには表彰式の通知を出し、表彰式にて表彰する。 ・内容は、市長あいさつ、来賓祝辞、表彰状の授与等 ・当日、表彰対象者に歯の健康管理等を聞き、広報、各種健康づくり教室等で市民にPRする。
	・80歳以上で自分の歯を20本以上有し、歯と口の健康や栄養を摂取することで全身の健康を保つ。 ・高齢者を始め、8020運動を実践する市民が増える。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	8020運動達成者	人	92	106	115	103
	8020運動表彰式	回	1	1	1	1
成果指標	8020運動達成者の割合	%	1.8	2.0	2.0	1.8
事業費 計			235	286	391	342
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	235	286	391

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	表彰者数は増加傾向となっている。 平成25年度：60人、平成26年度：83人、平成27年度：92人、平成28年度：106人、平成29年度：103人
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

健康づくり推進員による健康増進普及事業

[7]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0107	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進員の養成及び育成 市民から健康づくり推進員を募集し、健康づくりに必要な知識・技術の習得のため、養成講座を実施(平成16年度、19年度、23年度、27年度)。また、随時育成講座を実施。 健康増進普及 3つの活動の柱を設定し、市と協働して健康づくり事業の実施及び推進を行い、市民が健康づくりに取り組む機会を増やす。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><3つの活動の柱></p> <p>「筋トレ」:テキスト作成、らくらく筋トレ教室にスタッフとして参加、自主活動の支援</p> <p>「ウォーキング」:定例ウォーキング開催、効果的な準備体操の研究、他市の実施状況調査(視察)</p> <p>「笑い与健康」:笑いの健康講座の実施、笑いを取り入れた健康体操等の普及</p> <p>・定例会の開催 月1回開催し、具体的な活動内容等について検討。</p>
健康づくり推進員の人数及び活動機会が増加し、市と協働して健康づくりを推進・普及することができる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	健康づくり推進員養成講座・育成研修・健康講座の開催日数	日	13	5	10	5
	健康増進普及事業に関する推進員の活動日数(役員会、定例会、定例ウォーキング等計上。らくらく筋トレは含まず)	日	49	55	45	79
成果指標	健康づくり推進員の養成・育成人数(実人員)	人	39	38	35	32
	健康増進事業等に主体的に関わった健康づくり推進員の割合	%	96.4	89.4		96.9
事業費 計			255	243	275	261
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	255	243	275

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	健康づくり推進員の実人数は減ったが、健康増進事業等に主体的に関わった健康づくり推進員の割合は増えており、市民の健康づくりの推進・普及に貢献している。
--------	---	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

筋力トレーニング事業

[1126]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業 コード	11-0108	実施 計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合 戦略	
基本事業	01	健康増進事業の推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業 目的 と 概要 (29 年度 分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	40歳以上の市民	<p><らくらく筋トレ体操></p> <p>1 地区集会所等を会場とし、「らくらく筋トレ教室」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手足に巻くおもりをつけ、椅子を使用した筋力トレーニングを行う。 ・週1回、12回1コース(教室前後の元気まる測定を含む)×2クール ・保健師、運動指導員、看護師、健康づくり推進員の他、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士も健康教育スタッフとして従事。 <p>2 教室終了後も自主活動グループとして継続できるよう、健康づくり推進員とともに支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な元気まる測定の受検勧奨 ・研修や講習会等の案内 ・筋トレバッジの交付など <p><びんびんフィットネスクラブ></p> <p>教室開始時の目的の一つであった総合体育館のトレーニング機器の周知ができたため、平成28年度末で事業を廃止した。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・体力・筋力の保持増進を図り、将来自立した日常生活を送れるようにする。 ・地域の仲間で行うことによりトレーニングの継続や閉じこもり予防を図る。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動 指標	筋力トレーニング事業参加者数(実参加者数)	人	87	57	80	33	
	筋トレ自主活動グループ数(教室終了後に自主グループとなった以外のグループも含む)	箇所	52	56	60	61	
成果 指標	参加者の中で筋トレの効果を実感している人の割合	%	85	91.3	100	90.9	
	自主活動での筋トレ参加者(実参加者数)	人	1,319	1,404	1,440	1,434	
事業費 計			349	314	343	330	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他				170	164
		オ 一般		349	314	173	166

H29年度実績の評価

成果 実績 評価	【活動指標の状況】 順調	概ね良好
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施 取組 方針 実績 評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

健康相談事業

[10]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0201	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	健康相談・保健指導の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	健康相談 <内容> 保健師による健康相談 <開催場所・日時・回数> 健康課窓口での相談や電話相談を毎日午前中(2時間)開催する 精神保健福祉相談・・・福祉課へ移管、場所は保健福祉センター
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<内容> 精神保健福祉士による精神保健福祉相談(予約制) <開催場所・日時・回数> 健康課での来所相談や電話相談。毎週水曜日(定員3名) 栄養相談 <内容> 管理栄養士による栄養相談(予約制) <開催場所・日時・回数> 健康課での来所相談や電話相談。毎月第4月曜日
	必要時に相談し、支援を受けることができる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	相談開催回数(市役所開庁日+精神福祉相談日報枚数+栄養相談回数)	回	300	312	300	342
成果指標	相談延件数	人	1,438	1,516	1,500	2,197
	再相談件数割合	%				
事業費計						
指 標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況)H29は、相談件数が増加。 (原因)総合相談・栄養相談ともに相談件数が増加しているため。
--------	---	---

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

母子保健指導事業

[11]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0202	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	健康相談・保健指導の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	妊婦やその配偶者・新生児を持つ保護者及び乳幼児の保護者	<母子健康手帳の交付> 妊娠届出者に対し、窓口にて随時交付、妊娠・出産等に関する知識の普及 <ミニママ教室> 母子健康手帳の集団交付、参加者同士の交流 <パパママ教室> 妊娠・出産・育児などに対する知識の普及 <産婦・新生児訪問、未熟児訪問事業、産後ケア事業> 助産師による家庭訪問、相談・保健指導 <養育支援訪問事業> 保健師・助産師等の訪問による養育の支援、諸問題の解決・軽減 <育児健康相談> 窓口や電話及び家庭訪問などによる相談対応 <離乳食教室> 離乳食についての知識の普及 <健診事後指導教室> 親子遊びや専門職を交えた座談会等を通しての健全な母子育成の支援 <利用者支援事業> H29.4月母子保健コーディネーター(助産師・保健師)各1名雇用 妊娠期から出産、育児の切れ目ない相談・支援の継続
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	パパママ教室の回数	回	10	12	12	12	
	新生児訪問数(再訪問件数は除く)	件	148	151	200	172	
成果指標	パパママ教室の参加者割合	%	25.3	19.6	25	24.1	
	新生児訪問を受けた割合	%	22.9	21.9	29	27.5	
事業費計			1,956	2,133	7,592	4,774	
指標・事業費	財源内訳	ア 国			1,734	1,075	
		イ 県			1,734	930	
		ウ 地方債					
		エ その他		2	2	12	6
		オ 一般		1,954	2,131	4,112	2,763

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	核家族化、仕事を持ちながら子育てする女性が増えている中で、妊娠期から出産・育児に向けての正しい知識の普及に努めている。夫婦の協力で子育てをしていく入口から支援を開始するには、今後の親子関係、夫婦の役割や関係にも影響を与えることもあり重要と考える。パパママ教室は土日開催(H29は平日開催1回あり)とし、仕事を持ちながら子育てする妊婦、平日は休暇を取りにくい父親の参加を促すことができている。新生児訪問は、委託助産師との連携を図りつつ、新たに設置した子育てコンシェルジュによるタイムリーな時期の訪問が可能になり、実績を上げている。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援を進め、利用者支援事業(母子保健型)を充実させるために、専門職を配置します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

H29.4月から子育てコンシェルジュを設置し、所内面接・電話相談、訪問指導により、妊娠期から出産・子育て期へ切れ目なく支援が継続して行っている。

生活習慣病保健指導事業

[12]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0203	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康相談・保健指導の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の特定健康診査を受診し、積極的支援に該当となったが、特定保健指導をつけていない者を対象とする。	保険医療課における事務処理等が終了後、積極的支援に該当になった者へは利用券と利用案内が送付される。その後実施される教室への申し込みのない者に対して、随時訪問や電話をする。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
特定保健指導を受けるなどして健康的な生活習慣(食生活・運動)の重要性について理解し、健康的な生活を送ることができる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	訪問指導した実人数	人	56	32	80	49	
	訪問指導した延べ人数	人	59	32	80	49	
成果指標	訪問指導した者のうち特定保健指導につながった者の数	人	16	9	33	2	
	訪問指導した者のうち特定保健指導につながった者の割合	%	28.6	28.1	30.0	4.1	
事業費 計			7,237	5,585	7,842	4,351	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	34	22	32	34
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		7,203	5,563	7,810	4,317

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	訪問や電話勧奨が保健指導に結びついていない。
--------	---	------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

新型インフルエンザ対策事業（健康課）

[1179]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0204	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	健康相談・保健指導の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要 （29年度分）	対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
	新型インフルエンザの県下や市内での発生時に備え、市民や職員に対する必要な対策を講じる。	尾張旭市新型インフルエンザ等対策連絡会 新型インフルエンザ発生前、必要に応じ開催。関係各課等が連携を図りながら、県、近隣市町、事業者等との連携を強化し、発生時に備え、準備を進める。
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）	尾張旭市新型インフルエンザ等対策本部 新型インフルエンザが発生し、緊急事態宣言された場合に設置。総合的に対策を推進し、市民の健康被害防止、社会機能維持を図る。 市民に対して新型インフルエンザに関する情報提供 （市の動き） H26.11月末 尾張旭市新型インフルエンザ対策行動計画策定（特措法第8条、県行動計画に基づく） H28.11月 尾張旭市新型インフルエンザ対策連絡会議設置要綱一部改正 H28.12月 新型インフルエンザ等対策特別措置法の規定に基づく特定接種登録 特定接種の接種体制に関する覚書について瀬戸旭医師会と締結 H29.3月 平成28年度新型インフルエンザ等発生時における住民接種体制構築に関する検討課題シートを県に提出 H29年度中 労災病院、陶生病院と特定接種の覚書について締結予定

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	職員用防護対策等の実施回数	回	2	3	3	1
成果指標	特定接種協力機関数（累計）	件	0	1	3	2
事業費 計			145	132	120	93
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	145	132	120

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>新型インフルエンザ感染症連絡調整会議で住民接種、医療体制、連絡体制などについて定期的に話し合い検討できている。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針（H28年度本部結論）の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

歯科健康診査事業

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0301	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	早期発見・予防の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

20歳・30歳・40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の市民、及び特定健診受診者、禁煙外来治療費助成金交付者、市内在住の妊産婦(母子健康手帳の交付を受けた者)
【成人歯科健康診査】
 30歳・40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳を節目健診として、20歳と特定健診結果が積極的支援の者、禁煙外来治療費助成金交付者に対し無料クーポン健診として個別歯科健診を実施。
 <実施期間> 節目健診、20歳：6~12月、無料クーポン健診：交付日から1年間
 <内容> 歯科健診、保健指導、X線撮影
 <自己負担金>(一部免除制度あり)
 歯科健診：500円 X線撮影：500円
 <周知方法> 市広報誌や個人通知(受診券付)など
【妊産婦歯科健康診査】
 市内在住の妊産婦に、個別歯科健診を実施。
 <実施期間> 母子健康手帳交付日から産後1年以内
 <内容> 歯科健診、保健指導
 <自己負担金> なし
 ・母子健康手帳交付時に受診券を配布
 各種歯科健康診査は尾張旭市歯科医師会に委託

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	成人歯科健康診査受診者数	人	1,100	1,149	1,240	1,260	
	妊産婦歯科健康診査受診者数	人	234	271	270	232	
成果指標	個別歯科健診の受診率(成人歯科健康診査)	%	12.1	12.1	12.4	12.8	
	個別歯科健診の受診率(妊産婦歯科健康診査)	%	33.9	41.7	43	38.1	
事業費計			9,493	9,621	9,728	9,791	
指標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県	千円	964	876	1,645	1,507
		ウ 地方債					
		エ その他		125	120	130	99
		オ 一般		8,404	8,625	7,953	8,185

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<成人歯科健康診査> 20歳の方を無料クーポンに変更(H29年度~)した結果、20歳の受診率が11.0%(平成28年度)から12.4%(平成29年度)と1.4ポイント上昇。受診者全体の受診率は、平成25年度：10.4%、平成26年度：11.2%、平成27年度：12.1%、平成28年度：12.1%、平成29年度：12.8%と推移している。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)	<妊産婦歯科健康診査> 受診率は、平成25年度：34.8%、平成26年度：36.3%、平成27年度：33.9%、平成28年度：41.7%、平成29年度：38.1%と推移している。
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0302	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	早期発見・予防の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	保健事業情報種類 保健事業情報(健康情報システム)機器数 予防接種対象者 各種がん健診等対象者	健康情報管理システムにより、市民の健康診査情報や予防接種情報等を管理し市民の健康管理及び保健事業の円滑化を図っている。 (情報機器) 健康情報システム: パソコン6台、プリンター1台 (主な業務) 予防接種業務、乳幼児健康診査業務、成人健康診査(がん検診)業務、歯科健康診査等の情報管理 (システム更新) システムの老朽化及びマイナンバーへの連携対応のため、平成28年度に新健康情報システムの構築を行った。新たなパッケージシステムへ移行し、事務の効率化とコスト削減を図った。(平成29年3月稼働)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	パソコン、サーバー等情報処理機を用いて、大量の市民の健康情報を管理し、市民の健康管理及び情報、統計分析、各保健事業等の適正、円滑化が図られる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	健康情報システムに入力したデータ件数(予防接種関係・成人健康診査関係)	件	52,677	53,875	55,000	60,463
	保健情報システムにより通知書を作成した件数(予防接種関係・乳幼児健康診査関係)	件	14,555	14,130	13,000	14,292
成果指標	健康情報管理システムが適正に作動しなかったことにより事務の円滑化が図れなかった件数	件	0	0	0	0
事業費 計			2,816	20,095	3,033	2,967
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,816	20,095	3,033

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>現行の健康情報システムは平成29年3月から稼働。トラブルや不具合なく順調に運用できている。</p>
--------	---	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

予防接種事業

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0304	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	早期発見・予防の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>定期予防接種： BCG B型肝炎 ヒ ブ 小児肺炎球菌 4種混合 不 活化ポリオ 麻しん風しん混合 水 痘 2種混合 日本脳炎 HPV感 染症予防 高齢者インフルエンザ 高齢者肺炎球菌、対象者は予防接種法に 基づく。任意予防接種： 高齢者肺炎球 菌</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>予防接種を実施し、その病気に対する抵抗力(免疫)をつくり、個人が病気に感染して発病しない。また、周囲に病気を拡大させない。</p>	<p><実施方法> 瀬戸旭医師会に委託し、は集団接種(保健福祉センターにて)年12回実施。 ～ 個別接種(接種実施医療機関にて)で実施、対象者は医療機関に予約をし 接種。要注意者(アレルギー等の持病のある者)は公立陶生病院に委託。 *愛知県広域予防接種：かかりつけ医が県医師会予防接種協力医である場合、県 内市町村で接種が実施できる制度。乳幼児は平成26年4月～、高齢者は平成28年4 月～実施。 *償還払い制度：里帰り出産・入院等で県内実施医療機関で接種できない場合、 予防接種費用助成金要綱に基づき、定期接種のみ助成金を交付。</p> <p><周知方法> 個人通知、広報、HP等による周知 乳幼児健康診査・就学時健康診断時に接種状況の確認と勧奨</p> <p><その他> ・高齢者等肺炎球菌・高齢者インフルエンザ：一部自己負担金あり。 ・風しん抗体のない妊娠を希望する女性に風疹ワクチン接種助成：上限5,000円 ・平成28年度にこどもの予防接種スケジュールを管理するモバイルサイト「あさ びー予防接種ナビ」を開設し、6月から配信を開始。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動 指標	集団接種回数	回	12	12	12	12	
	定期予防接種個別接種委託医療機関	個所	96	85	96	97	
成果 指標	乳幼児・児童生徒の定期予防接種の接種率(H26は の2期と特例H27はH26条件に を加える、H28は を 除いた数)	%	99.1	92.9	95	98.5	
	事業費 計		214,888	204,474	254,312	232,789	
指標・ 事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県	千円	25	17	41	9
		ウ 地方債					
		エ その他				1	
		オ 一般		214,863	204,457	254,270	232,780

H29年度実績の評価

成果 実績 評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)成果指標Cについては、H28年度実績とH29年度実績を比較すると5.6%向上している。 (原因)各種健診での接種歴の確認や接種勧奨を徹底し、日本脳炎の特例対象者への通知発送などで接種につながっていると思われる。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施 取組 方針 実績 評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0306	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	早期発見・予防の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>・健康診査：健康診査・骨粗鬆症検診を受診する機会のない人(18歳以上39歳)。 ・骨粗鬆症検診：骨粗鬆症検診を受診する機会のない女性(40・45・50・55・60・65・70歳)。</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>自分自身の健康に関心を持ち、健康維持・増進を図る市民が増える。</p>	<p>健康診査(一般健診・骨粗鬆症検診) ・実施時期：9/29,30,10/4,5の4日間(4日はレディースデー) ・費用：一般健診500円、骨粗鬆症検診500円、歯科健診無料</p> <p>1.周知：広報掲載、ちらし配布、予防接種や乳幼児健診通知時にちらし同封 2.受付し、参加者へ日程通知 3.健診実施：問診、身体計測、血圧測定、尿検査、内科検査、血液検査、乳がんの自己検査法についての話</p> <p>4.骨量測定 5.結果説明会実施</p> <p>骨粗鬆症検診 ・実施時期：7/18,7/19の2日間 ・費用：500円</p> <p>1.周知(広報掲載、ちらし配布、ポスター掲示) 2.受付し、参加者へ日程通知 3.検診実施：問診、血圧測定、歯周病チェック、骨量測定、乳がん自己検査法 4.結果説明会実施</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	健康診査(一般健診)受診者数	人	223	219	480	233	
	骨粗鬆症検診受診者数(40・45・50・55・60・65・70歳の女性)	人	209	178	430	139	
成果指標	健康診査(一般健診)受診者の割合	%	1.14	1.13	4.00	1.20	
	骨粗鬆症検診受診者の割合	%	5.56	4.49	11.6	3.32	
事業費 計			1,823	1,346	2,200	1,398	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	376	480	402	195
		ウ 地方債					
		エ その他		263	246	400	243
		オ 一般		1,184	620	1,398	960

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)「健康診査(一般健診)受診者の割合」は昨年度実績と比べ0.1ポイント上昇していますが、「骨粗鬆症検診受診者の割合」は1.1ポイント減少しています。</p> <p>(原因)骨粗鬆症検診が医療機関等でも受診できる機会が増えていることが一因であると考えられます。</p>
--------	--	---

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	受診者数の減少傾向に対応するため、適正な実施方法、内容、日時等を検討します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
H30年度に向けて実施日の変更を検討しました。			

がん検診等事業

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0307	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	早期発見・予防の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>職場等で健診を受ける機会のない市民40歳以上：肺・胃・大腸・医療保険未加入者の健診、40歳以上隔年女性：乳、20歳以上隔年女性：子宮、50歳以上男性：前立腺、40歳以上5歳刻み及び41歳以上で肝炎検診受診歴のないかた：肝炎</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>健康診査を受診することで、健康の保持増進を図り、疾病を早期発見・早期治療することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整：4～5月に、瀬戸市及び瀬戸旭医師会と事前に調整。 ・受診券送付：5月末に対象者へ個人通知。 ・健康診査：6・7・9・10月に、尾張旭市・瀬戸市の実施医療機関で実施。 *自己負担額(カッコ内は70歳以上及び尾張旭市国民健康保険加入者) 医療保険未加入者の健康診査0円、胃がん(x線)検診2,400(800)円、胃がん(内視鏡)検診3,400円(1,800)円、大腸がん検診400(200)円、肺がん検診600(300)円、子宮頸がん検診1,300(650)円、乳がん検診1,500(1,500)円、前立腺がん検診800(800)円 ・周知方法：対象者への受診券送付、広報及び全戸配布チラシ等で周知。 ・要精密検査となった者の追跡：精密検査の受診勧奨とともに精密検査結果の追跡調査を実施。 *平成20年度から老人保健法で実施されていた基本健診が、高齢者の医療の確保に関する法律による保険者主体の特定健診に変更になり、健康課では、医療保険に未加入者の健康診査が継続になった。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	実施医療機関数(健診ごと合計)	ヶ所	290	279	290	354
	周知回数	回	13	16	16	17
成果指標	延べ受診者数(健診ごと合計)	人	31,848	31,440	35,708	33,192
	健康診査受診者の割合(20年度より指標変更)	%	30.7	31.8	40	30.0
事業費 計			178,672	189,664	195,329	191,595
財源内訳		ア 国	1,675	1,001	849	302
		イ 県	7,104	5,426	5,194	2,958
		ウ 地方債				
		エ その他	5,135	4,979	5,514	4,433
		オ 一般	164,758	178,258	183,772	183,902

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	受診券の個人通知や広報等で広く周知することで、受診者が増加した。
--------	---	----------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	国の指針改正に基づいた適正な検査実施となるよう、引き続き関係団体と協議します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
瀬戸市及び瀬戸旭医師会と協議し、検診を適切に実施した。			

妊婦・乳幼児健康診査事業

[20]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0401	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	04	母子保健の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	妊婦・乳幼児とその保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦・乳児(1か月、10か月健診)の医療機関委託の公費負担の受診券(妊婦14枚と子宮がん検診、産後健診、乳児2枚)交付。 ・出生届より、子どもの個別管理カードを作成、出生から3歳児までの管理。 ・各健康診査等の対象者に周知(広報、個人通知、保健サービス予定表等)。 ・3か月(医師会に集団健診委託) ・1歳6か月、3歳(医師会、歯科医師会に集団健診委託) ・2歳3か月(歯科医師会に委託) ・健康教育(成長、育児、口腔ケア)、身体計測、診察、フッ素塗布、個別相談など実施。 ・健康診査結果に応じて事後指導を行なう。 ・必要に応じ、各関係機関(児童館、発達センター、ピンポンパン教室、医療機関等)と連絡をとりながら保育、療育指導を行う。 ・未受診者に対し、対面による状況把握に努める。 ・2歳3か月児の歯科健診時に健康相談実施。(H22~) ・6か月児健康診査を健康相談に体制変更。(H23~) ・健康診査の待ち時間に親子のふれあい遊び。(保育士、運動指導士)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	妊婦または乳幼児の心身の発育・発達を総合的に診査し、疾病障害の早期発見、早期対応を図り、妊婦または乳幼児とその保護者が健やかに成長する。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	集団健康診査・健康相談開催回数(3か月, 6か月, 1歳6か月, 3歳児健診、2歳3か月児健康相談)	回	66	66	66	66	
	健診後追跡者数(要フォロー児数)(延人員)	人	847	984	900	888	
成果指標	健康診査の受診率	%	94.8	96.5	97	95.2	
	健康診査の未受診者のうち状況を把握できた割合	%	97.2	96.5	100	96.1	
事業費 計			76,120	76,570	84,623	75,051	
財源内訳		ア 国				1,925	
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	76,120	76,570	84,623	73,126

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)健康診査の受診率、未受診者の把握率も昨年よりやや低下しています。 (原因)働いている方も増え、受診しづらい現状があると考えられます。勧奨を続け、未受診者の把握に努めています。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	産後健診の実施について、公費負担の適切性を考慮して、検討します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
H29.4.1以降に出産された産婦を対象に産婦健康診査の助成を開始しました。			

乳幼児歯科保健事業

[1000]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0402	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	04	母子保健の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市内在住の幼児 1歳6か月児・2歳3か月児・3歳児 4歳児・5歳児・6歳児など	<p>< 歯科健診事業 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 個別歯科健診：6歳児歯科健診 集団歯科健診：1歳6か月児、2歳3か月児、3歳児、4歳児、5歳児歯科健診 <p>・内容</p> <p>6歳児：歯科健診、フッ素塗布又はシーラント処置、保健指導 その他：健康教育、歯科健診、フッ素塗布、保健指導</p> <p>・周知方法：広報や個人通知、保健サービス予定表などで周知を図る。 6歳児歯科健診は、個人通知とともに受診券を送付</p> <p>・受診期間</p> <p>6歳児：6歳の誕生日から7歳の誕生日の前日まで受診券有効 その他：保健サービス予定表に沿って実施</p> <p>・集団健診の4歳児、5歳児歯科健康診査及び個別健診の6歳児歯科健康診査は尾張旭市歯科医師会に委託</p> <p>・自己負担金は無し</p> <p>< 保育園、小学校歯みがき指導 ></p> <p>市内保育園及び小学校で歯みがき指導を行う。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	歯の関心を高めるとともに、乳歯のむし歯の早期発見・早期治療をすることで、永久歯のむし歯の予防(特に6歳臼歯の保護育成)を図り、母子ともに健やかに育ち生活する。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	健康診査開催回数(1.6歳児～6歳児歯科健診総計)	回	56	56	56	56
	乳幼児歯科健康診査の受診者数(1歳6か月、2歳3か月、3歳、4歳、5歳、6歳児年齢別)	人	2,863	2,879	3,100	2,840
成果指標	乳幼児歯科健康診査の受診率(1歳6か月、2歳3か月、3歳、4歳、5歳児年齢別)	%	71	73	80	71.8
	6歳児歯科健康診査の受診率	%	30.9	26.4	35	28.1
事業費 計			5,572	5,925	6,264	5,663
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	5,572	5,925	6,264

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	各歯科健診の受診率は、ここ数年横ばい。
--------	---	---------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

ブックスタート事業

[21]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0403	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	母子保健の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	生後6か月の乳児及びその保護者	<p>6~7か月児健康相談の会場(保健福祉センター)にて、待ち時間を利用して、図書館職員、ボランティア等が乳児とその親に絵本を介して語りかけ、コミュニケーションをとる方法を実演する。絵本を1冊ずつ保護者に無償配布する。</p> <p><事務手順></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6~7か月児健康相談：健康相談の待ち時間に絵本を介した親子のふれあいを体験、絵本・手提げ袋の配布。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・絵本を介して子どもとのコミュニケーションを深めようとする親が増加する。
・本に興味を持ち、心身ともに健康な子どもが増加する。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	ブックスタートを受けた組数	組	596	667	700	645
成果指標	ブックスタートを受けた組の割合	%	93.0	96.8	100	97.4
事業費 計			535	543	575	541
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		535	543	575

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>受診率向上のために、未受診者へのフォローを徹底している。その中で受診につながりブックスタートを受ける親子が増えている。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

不妊治療費等補助事業

[1110]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0404	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	母子保健の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	婚姻が確認できる法律上の夫婦であって不妊症と診断され、その治療を受けた者	不妊治療補助の相談、受付(100件×30分×2回 100時間) 補助金審査(所得、住民情報、内容チェック)事務(80件×40分 60時間) 交付決定、通知事務(80件×30分 40時間) 支払事務(80件×20分 20時間) 県への助成金交付申請事務(180分×3回 10時間)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
不妊治療(体外受精及び顕微授精を除く不妊治療)に要する費用の一部を助成することにより、その経済的な負担の軽減を図り、母子保健の向上並びに次世代育成の支援を図る。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	補助金申請件数	件	92	73	80	73
	補助金交付件数	件	92	73	80	73
成果指標	補助金交付者のうち、適正交付された率	%	100	100	100	100
	補助金交付者のうち、母子手帳交付数	件	19	19	20	17
事業費 計			3,129	2,492	3,000	2,520
財源内訳		ア 国				
		イ 県	670	512	500	439
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	2,459	1,980	2,500	2,081

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	補助金交付件数、母子手帳交付件数はともに、ここ数年横ばいで推移しており、出産を希望している夫婦に対し一定の効果を上げている。
--------	---	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

保健福祉センター維持管理事業

[22]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0501	実施計画	
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	市民参加による健康づくりの推進	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	保健福祉センターの施設・設備	<保健福祉センターの概要> 1階：健康課事務室、社会福祉協議会、地域包括支援センター 2階：健診会場 3階：障がい者デイサービスセンター、調理室、子育て支援室、こども・子育て相談、こどもの発達センター 4階：健康づくりフロア、シアタールーム、子育て支援センター 施設：危険及び故障箇所の修繕・営繕工事 設備：維持管理(委託による保守点検)の実施及び故障箇所の修繕
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
市民の健康増進環境に適し、安全かつ安心して保健活動等が行えるよう施設・設備が適切に維持管理されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	営繕工事施行件数	件		30	25	15	
	維持管理(保守点検等)実施件数	件		10	10	10	
成果指標	施設設備維持管理上の重大なトラブル件数	件		0	0	0	
事業費 計				21,807	20,919	21,483	
財源内訳		ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他			243	344	265
		オ 一般			21,564	20,575	21,218

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	施設設備維持管理上の重大なトラブルは発生していない。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

健康ボランティア育成事業

[23]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0502	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	市民参加による健康づくりの推進	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民ボランティア団体	市民と行政の協働による健康関連事業が効果的かつ効率的に出来るよう、ボランティア団体に対しフォローアップ研修や打合せ会を実施。事業におけるボランティアの役割等を明確にした上で、健康づくり・保健事業を協働実施していく。平成30年度は食生活改善推進員養成講座を開催予定。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><市民ボランティア団体と協働実施している健康関連事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養関連の健康づくり教室：健康づくり食生活改善協議会 筋トレ関連の健康づくり教室：健康づくり推進委員会 離乳食教室の託児：子育て託児ボランティア ブックスタート事業：ブックスタートボランティア 定例ウォーキング：健康づくり推進委員会 尾張旭市健康まつり：健康づくり食生活改善協議会、健康づくり推進委員会、あづま会、生活学校、ソロプチミスト、スポーツ推進委員会、市民ボランティア <p>*事業費については、各事業で計上する</p>
	健康づくり・保健事業を市民ボランティアと行政の協働で実施することにより、ボランティアに市民の見本となってもらったり、支援をしてもらうことで健康づくり等に取り組む市民が増えている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	保健事業に関わるボランティア人数	人	235	229	300	230
成果指標	保健事業におけるボランティア団体数	団体	8	8	10	9
	保健事業におけるボランティアの市民割合	%	0.29	0.28	0.36	0.28
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>昨年度と比べ、活動人数は変化なし。 様々な保健予防事業に協力してもらい、市民の健康づくりの推進に貢献している。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

健康あさひ21計画推進事業

[24]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0901	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>策定する分野別計画、市民、各種団体、企業、地域、行政</p>	<p>市民が健康づくりの主役となり、市民、各種団体、行政が協働して健康づくりに取り組む姿をめざした尾張旭市の健康増進計画(現在は第2次計画)。 平成25年度から平成26年度 第1次計画の最終評価及び「第2次健康あさひ21計画(計画期間: H27~36年度)」の策定。 (アンケートの実施、作業部会(3回開催)、素案審議の会議開催等) 平成31年度から平成32年度にかけて、中間評価・見直しを行う予定。 平成31年度 中間評価にかかるアンケート調査の実施 平成32年度 アンケート結果を基に計画見直し版(中間評価)策定(作業部会(ワークショップ)、計画策定に係る会議の開催等)</p>
	<p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>「市民が健康で明るく、元気に生活できる社会」の実現に向けて、市民、団体、行政が健康づくりにおけるそれぞれの役割に基づいて掲げた目標が計画され、達成されている。</p>	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	各種会議の延べ開催日数	日	0	0	0	0
	各種会議への延べ参加者数(アンケート回答含)	人	0	0	0	0
成果指標	健康あさひ21指標(全体)の目標達成率	%	60	65	70	70
	健やか親子指標の目標達成率	%	60	65	70	70
事業費 計						
指 標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>健康あさひ21計画(第1次)の最終評価(H25年度実施の市民アンケート)では9分野、150の指標により達成状況(達成、改善、やや改善、悪化の判定基準)を評価した。結果は、150指標のうち、120指標で「やや改善」以上に該当し、計画当初から改善の傾向が見られた。 H31年度には、第2次健康あさひ21計画の中間評価として同様の検証を実施する予定。(H25年度からの経年比較を行い、計画内容の見直しや事業の見直しに活用する。)</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

禁煙・分煙推進事業

[1241]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	11-0902	実施計画	対象
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>市民</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>・吸う人も吸わない人もお互いの立場を尊重しながら過ごすことのできる環境整備を図るとともに、公共施設の全面禁煙化を目指す。 ・市民の喫煙率が低下し、受動喫煙の機会が減少する。</p>	<p><受動喫煙防止対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止対策基準に基づき、公共施設内の禁煙区域を拡大するとともに、基準を建物入口のステッカーで表示 ・屋外喫煙場所については、建物入口から10メートル以上離れた場所に設置 <p><禁煙支援施策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・禁煙外来治療費の助成 ・禁煙事前届出者を健康マイスター事業対象とする ・禁煙事前申請者へのフォロー実施 ・禁煙出前講座の実施 ・小中学生に対する防煙教育の推進 <p><マナー・モラル向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等にマナー広告を設置するとともに、ホームページや広報等にてマナー・モラル向上について周知 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業(JT、ファイザー)と連携・協力して、取組を推進 ・毎月22日の「禁煙の日」に、公共施設の灰皿を撤去

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	禁煙出前講座の参加者数(平成28年度までは禁煙セミナー参加者数)	人	12	18	30	157
	禁煙外来治療費助成申込者数(当該年度の事前届出者数)	人	72	70	60	51
成果指標	全面禁煙を実施している施設数	か所	128	128	128	128
	禁煙外来治療成功者数(当該年度末の助成金申請者数)	人	43	44	30	37
事業費 計			367	434	422	339
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	367	434	422

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>禁煙外来治療成功者数が年々減少しているのは、禁煙治療費助成制度が市民に浸透し、禁煙成功者が増えたためだと思われる。また、全面禁煙実施施設数については変化がないが、平成30年度に「禁煙・分煙の方針・取組」を見直すことにより、施設内禁煙の実施施設の増加が見込まれる。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	事業の効果を検証を行い、今後の事業内容の見直しを図ります。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
見直しの時期である平成30年度に「禁煙・分煙の方針・取組」を見直す。			

健康課庶務事務

[938]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	99-0406	実施計画
施策	01	健康づくりの推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	課の庶務事務 課職員	健康課における主な庶務事務 文書の処理(200時間) 庁内外の文書調査報告(50時間) 行政評価の管理(120時間) 郵便物の発送(60時間) 課内の備品・消耗品の調達・管理(6時間) 課内関係書類整理(120時間) 保有パソコンの管理(3時間) 時間外勤務・出張命令の整理(12時間) 財務会計事務(210時間) 予算・決算に関する事務(224時間) 補助金事務(県費)(210時間) 互助会に関する事務(5時間) 施設管理(20時間) 施設契約事務(34時間) 施設の修繕(6時間) 備品の修繕(4時間) 備品台帳の整理・管理(3時間) 公用車の管理(3時間) 委託業務(56時間) 駐車場整理(6時間) 21_市町村保健師協議会等運営負担金を交付(10時間)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	庶務事務の内容に大幅に変更はないが、補助金申請、行政評価、健診事務等業務内容によっては、一時的に事務量が集中することがある。 平成23年度より11-0902を統合 平成26年度より12-0904(医療等保健福祉事業賠償金)を統合 平成26年度より12-0905(看護学生等実習指導事業)を統合

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	庶務事務の所要時間	時間	1,230	1,230	1,230	1,230	
成果指標	庶務事務における手続き誤りや不具合件数	件	0	0	0	0	
	庶務事務における事務改善件数	件	0	0	2	2	
事業費 計			4,642	4,714	7,332	7,861	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		67	66	70	66
		オ 一般		4,575	4,648	7,262	7,795

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	職員、嘱託職員、臨時職員、管理業務受託者(シルバー人材センター)がそれぞれに連携、協力しながら庶務事務を円滑に進めている。
--------	---	---

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-